

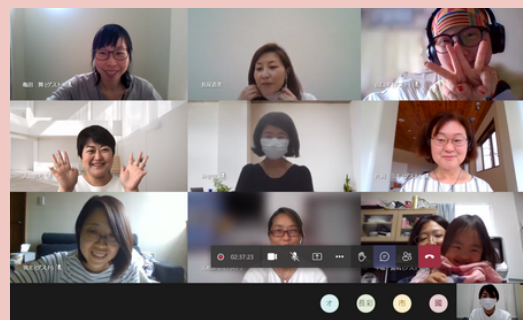
第1回 開催レポート

働くための準備をしよう

～私のITスキル診断～

5月20日(金) 10:00～12:00

オンライン開催(参加費無料)



第1部 「講話 再び働くための準備とは」

講師 ヒトノコト 渡辺みさき



誰もが幸せに働ける場をつくりたい

鎌倉で人事のお仕事をしています渡辺みさきと申します。鎌倉をみんながしあわせに笑顔で働ける街にしたいとの思いがあります。

働くことは、誰かから感謝され、自分の充実感にもなる、とても素晴らしいことです。月曜日って嫌だよねにならない働き方、しあわせになれる働き方ができるように、みなさんのお力になれば嬉しいです。

働くための武器を持ち次のステージへ

今年度の目的は「働くための武器を持つ」。ITに関する全4回の実務研修を通して、自分に適正があるか、お金と時間をかけて仕事につなげられるか、スキルアップの勉強をし続けられるかについてチェックします。

コロナ禍で仕事の在り方は大きく変わりました。従業員や派遣社員のほかに、個人事業主として業務委託を受ける働き方もあります。社会情勢や仕事の需要の面からも、EC周辺の内容にしばって、ITやプログラミングに関する職種、実際の求人状況などについてお伝えします。

「在宅・IT・EC」でしあわせな働き方の選択肢を持つ

キーワード1 「在宅」

いつでもどこでも働ける状況を自分でつくる

実際に武器とはどういうものかについて、「在宅・IT・EC」の3つのキーワードから考えてみましょう。

在宅で仕事をしたい方も多いと思います。人事の仕事をしていて企業からこういう人いませんかとお話があった時に、お人柄は問題ないのにITスキルがない、ご本人も家での仕事

を希望しているけどパソコンがない。そうすると内職のような働き方しかなくて、今の時代にはフィットしません。

パソコンが使えないと、在宅の仕事は非常に難しいといえます。

いずれ在宅で仕事をしたいと思っているなら、今はじめましょう。いつでもどんな時でも自分で楽しく働けるという状況を、まず自分でつくることが、重要なポイントになります。

キーワード2「IT」

ITスキルで自分の世界をひろげる

今まではパートタイマーの働き方が多くありました。ご近所で自分のしたい仕事ができる点はとてもいいですね。そこへ、例えばお子さんの教育費や介護でお金がかかるようになったという時に在宅を含めたダブルワークという考え方が出てきました。

昔は仕事といえば、一生そのひとつの仕事をがんばってやっていくことがほとんどでし

たが、今はもうひとつまったく違う種類の仕事をする事で、自分の世界を広げられる可能性が出てきました。

在宅勤務では最低でも、パソコンがさわれる、Word・Excelができる、ちょっとしたプログラムがかける、などができないと、リモートで何かをすることは非常に難しい。

まずはパソコンを持って、ある程度のことはできますよ、というところが最低限のレベルになってきています。ぜひ自分の枠を広げる意味でもITを活用していただきたいです。

キーワード3「EC」

ECショップも利用者も増加傾向

この数年間でECショップがとても増えていきます。コロナ禍で外に出るのがこわくてネットで買うことなどが増える→買う人が増える→売る人も増える→売る人を増やさないと買う人が選べない、ということでECショップも利用者も増加しています。

のちほど大川講師に実演いただきますが、バナーなどのデザイン作成に使える便利なフリーソフトもあり、EC関連のデザインは学びやすいITスキルのひとつといえます。

コロナ禍で働き方が変わり、企業でも在宅での働き方が一般的になりました。その環境をどうチャンスとしてとらえるか、考えていただきたいところです。

働き方を選択し、自分の人生をクリエイトする

いろいろな働き方ができる世の中に土台が変わったということは、私たちの責任も大きくなったということ。自分の人生をどうクリエイトしていくのか、楽しく仕事ができるかどうかは自分の責任です。働く方法はなにかにあるのか、できる範囲のことからはじめ

て、豊かな時間が送れるような仕事を選択していただきたいと願っています。

全4回、ぜひみなさんで励ましあい学びあいながら、働くことについて真剣に考え、一緒に次のステップに進んでいきましょう。

Q. セミナーに参加した理由はなんですか？



参加者Aさん

いずれは働きたいのですが、鎌倉の仕事の環境がよくわかりません。持っている資格をいかして働くか、新たにITスキルを習得して仕事を探す方がいいのか、悩んでいます。

鎌倉での働き方やITスキルの知識を得て一歩踏み出せたらと思っています。



参加者Bさん

これまで別の業界で働いてきたのでパソコンスキルがありません。今回市が主催ということで、初心者でも大丈夫かなと思い参加しました。

ITスキルやWebデザインに興味があるので、全4回を通してIT業界の仕事について知識をつけたいです。

第2部「ネットショップデザインに使うソフトについて」

講師

ママダカラ(株) 大川真弓



子育て＋在宅ワークは隙間時間を活用

私はネットショップ制作会社に勤めた後、結婚・出産を経てフリーランスになりました。現在は子育てしながら在宅でWeb・EC関連の仕事をしており15年の経歴があります。

子育てしながらの仕事について、子どもが0～3歳のころは、一日の隙間時間をかき集めて、3時間稼働できたらいい方でした。在宅ワークは家事などのタスクと調整しながら、できるだけ無理のないかたちで隙間時間を活用することが大切だと感じています。

無料ツールでバナーや商品画像をつくる

ネットショップのバナーや商品画像について、Photoshop（フォトショップ）というプロが使う高度な写真加工・編集ソフトがあります。ネットショップの会社で働きたい、フリーランスでデザインを仕事にしたい場合は、購入する必要があるソフトです。

対して、Canva（キャンバ）やPixlr（ピクセラ）という、無料ソフトがあります。これは、パソコンがインターネットに接続されていれば使えるサービスで、バナー制作や商品の画像加工におすすめです。

第2回ではそれらの無料ソフトを使って、バナー作成や画像編集を実演し、みなさんに見ていただきたいと思います。

EC業務で大切にしたい3つのスキル

1、どうしたら商品が売れるかという目線

どれだけキレイにデザインしても売れないと意味がないので、消費者にわかりやすく説明する画像が作れる必要があります。

2、ネットで買い物をする時の購入者意識

自分がどんな画像で購入したくなるか、日々買い物をする時に気にして見てみると実務にも活かれます。

3、コツコツやること

デザインやネットショップの仕事ははなや

かに見えるかもしれませんが、延々と商品価格をコピー＆ペーストするなど、意外に地味な作業が多いため、コツコツと進められる人は向いていると思います。

ECでは、商品が売れないと意味がないので、お客様がどうしたら買いやすいか、買い物をする方の目線を一番にしてサービスを考えます。

興味のあるかたは、まずは無料ソフトを使って、できる範囲から制作をスタートしてみましょう。

Q. ECデザインとWEBデザインの大きな違いはなんですか？



基本的には同じスキルですが、ECはデザインがよくななくても販売後のアフターフォローがしっかりしている店が売れたり、見た目のデザインだけではないところが重要になります。お客様がどうしたら喜ぶかを意識してデザイン・工夫できることが大切です。

「IT業務とは ～Web業界のキャリアパス～」

講師 (株) みなるき 片岡美紀



Webスキルは自分で勉強しやすい世界

ネットがあまり普及していなかったころに
画材のネット通販とコンビニの店長を兼務し、兼業の忙しさをIT化で乗り切ろうとしたことからこの世界に入りました。現在はオフィス業務デジタル化のサポートをしています。

ITは当時は独学でもできるくらい簡単でした。今は内容が難しくなっていますが、学習教材も多いので、勉強しやすい世界であるともいえます。第3・4回セミナーでは、Web・ECサイト作成のさわりについて講義します。試してみて、進んでみたいかたには勉強法も含めてご紹介します。

Web業界は職種も働き方も選択肢が多い

Web制作にあたって、まず企画を立てる→サイトマップ（設計図）を作る→デザインする→コーディングする（インターネットのブラウザに表示されるようプログラミング言語にかえる）→Web上に公開する、という流れが一般的です。職種としては、企画をたてるWebディレクター、実際にデザインするWeb

デザイナー、コーダーやフロントエンドエンジニアなどの他に、使いやすさや感動体験をデザインするUI・UXデザイナーのような専門職も出てきており、多岐にわたります。

在宅での働き方もできますし、女性のWebディレクターも活躍していて、キャリアパスを描きやすい業界といえます。高度な職種が偉いわけではないので、自分にあった職種で自分らしく働いていくことが大切です。

まずサイト構築の基本を習得する

Web制作は、サイトを表示するためのHTML／CSS、動きを作るJavaScriptが基礎となります。それらのコードを使わなくても、例えばWix、Wordpress、Shopifyなどで、デザインテンプレートを使ったサイト構築も可能です。

ただしノーコードの場合、そのサービスがなくなるとスキルがゼロになってしまう可能性があります。ですので、まずはWeb制作の

基礎としてHTML／CSS、JavaScriptを習得し、それをベースに次の技術をプラスする、より高度なスキルを学んでいくのがよいと思います。

Web業界は流行が早く、スキルアップを続けていかなければいけません。プログラミング言語を使って新しい表現ができることを楽しいと感じられる人は向いていると思います。自分で合うものを探しながら、楽しみながらぜひチャレンジしてみてください。

Q. Web制作やITエンジニアに興味があります。子育て中に、どんなタイミングではじめたらいいのでしょうか？

A.

フリーランスの場合は、小さな仕事を受けていけばそれが経験になり、年齢もあまり関係ないので、いつ始めてもよいと思います。再就職の場合は、20～30代の若いカたが選ばれやすい傾向にあります。

IT業界はスキルも職種もいろいろで、自分がどの仕事を選ぶかによります。スクールや学習教材、SNSのコミュニティなどを活用しながら、まずは基礎からはじめてみましょう。

★ 第2回は6月17日(金)に開催します！